

すこやか河内

河内地域学校園便り vol. 001 2010/10/18

～ 小中一貫教育を通して、子どもたちの心身の健やかな成長をめざします ～

すこやか河内学校園、始動！



すこやか河内学校園長の駒田ですが、今回の地域学校園便りの発行にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

本地区は平成 21 年度に宇都宮市教育委員会より小中一貫教育地域学校園モデル校の認定を受け、少しずつ準備を進めてまいりました。昨年度は、本地区学校園の教育ビジョンを策定するとともに4つの部会を立ち上げ、平成 22 年度の活動の方向性や内容を検討しました。今年度は、その計画に基づき、実践を重ねております。

本地区学校園の特色は、小学校 2 校、中学校 1 校の小さな規模であることがあげられます。児童・生徒数、教職員数が他地区に比べて少ないため、その分、子どもや教職員相互の顔が見える、家庭的な雰囲気があります。

また、誰にでも分かる簡潔な教育ビジョンであることも一つの特色であると言えます。本来、この小中一貫教育は、中 1 ギャップの解消と知・徳・体を含めた学力保障を大きなねらいとしています。本地区はそのねらいを受けて、知・徳・体の調和のとれた児童・生徒のすこやかな育成を願って「すこやか河内」としました。誰にでも分かりやすく、覚えやすい教育ビジョンであると自負しております。

もちろん、すこやかな児童・生徒の育成は、学校だけの努力だけで達成できるものではありません。教育の基盤となる家庭教育の充実と連携、さらには、家庭・学校を支える地域の協力が不可欠です。これまでにも、学校は「地域の学校」として地域の皆様から多くの支援をいただきました。今後は、さらに地域との連携を深めるため、「地域が学校」をめざしていく必要があります。「地域学校園」という言葉には、そうした願いが込められているものと考えております。

こうした小中一貫教育・地域学校園構想は、試行の段階に入ったばかりであり、また、従来の教育の枠組みや施設の中で、どれだけそのねらいを達成できるか、まだまだ分かりません。しかしながら、これまでの半年間の取組を通して、小・中学校間の教職員同士の顔がつながり、それぞれの校種が持つ小学校文化・中学校文化への相互理解も深まってきたこと、さらには、小・中学校の教職員が協力してこの地域子どもたちを育てているということを再認識できたことは、大きな成果であると思います。

今、学校は、よりよい教育の実現に向けて変わろうと努力しているところです。保護者・地域の皆様には、こうした学校の状況をご理解いただくとともに、さらなるご支援をお願い申し上げ、あいさついたします。

◎小中一貫教育のねらい

「小学校 6 年 + 中学校 3 年の義務教育」という考え方が生み出す「中 1 ギャップ」を、地域による「9 年の一貫した義務教育」という体制で解消し、小中で連携したカリキュラムによる教育活動を地域の子どもに展開することにより、知・徳・体のバランスのとれた学力を保障する。

カリキュラムの連携とは・・・> 『目標の一貫性』『指導法の一貫性』『学習内容の系統性』を保障すること。

◎授業交流のようす

1 授業を行った教員の感想

(1) 中学校 中村教諭 (5/12 岡本小, 5/18 岡本西小 国語)

児童は本交流授業に期待感を持って臨んでいました。学習過程に活動を位置付けましたが、どの子もみな前向きに取り組んでおり、指導者としての心地良さを感じました。学習内容についての理解は、おおむね満足の状態にあると評価できます。

本交流授業は、あらゆる面で非常に有意義な事業だと実感しました。今後、より多くの授業交流を実施すべきだと考えます。

(2) 岡本小学校 石井教諭 (5/26 中学校 国語)

卒業したばかりの1年生が、生き生きと中学校生活に溶け込み、自分の役割をてきぱきとこなしている姿を実際に見ることができ、中学校生活にすっかり適応できていたことを、大変うれしく思いました。また、小学校と比べて中学校は休み時間が短いにもかかわらず、指示されなくても自分で判断し、しっかりと授業に臨む態勢ができていたことにも驚かされました。小学校の段階で指導しておくべきことも見えてきました。今回の実り多い交流で得たものを学校へ持ち帰って伝達し、小学校から中学校へとうまくつなげていけるようにしていきたいと思います。

(3) 岡本西小学校 田中教諭 (7/15 中学校 数学)

生徒達は朝の会で司会や健康観察をするなど、自分の役割を全うし、生き生きと活動していました。またクラスや学校のきまりに従い、節度をもつてのびのびと過ごしていました。

理科では、グループ内で役割分担をして観察器具の準備を行い、観察は各自で主体的に取り組んでいました。数学は習熟度別の2クラスに分かれ、落ち着いて取り組んでいました。クラスによって、百マス計算などの補足的な内容が追加されたり、基本的な問題は抜かしたりと指導が工夫されていました。



2 授業後の子どもたちの声

(1) 小学生の声

- ・ 中村先生は声が とても大きくて、聞き取りやすかったです。内容もわかりやすく答えやすかったです。たくさんほめてくれたので、うれしかったです。「センス いいね!」とかほめてくれたので、「これからも頑張ろう」という勇気がわいてきました。
- ・ 授業で楽しかったことは、みんなをすごく楽しませてくれたことです。ぼくは、発音がうまいと言われたことが嬉しかったです。英会話の授業がいつもより楽しかったです。また、来てください。
- ・ 中学校の先生は、きびしいかなと思ったけど、わかりやすく聞きやすかったです。これなら中学校にいても安心だと思いました。
- ・ どの先生も声が大きくて聞きやすかったです。中村先生は、(休み時間の)遊びが楽しかったです。渡邊先生は、字が大きくて見やすかったです。齋藤先生はとてもおもしろかったです。
- ・ また来てもらいたいです。できれば、理科や社会や体育や図工なども教えてもらいたいです。交流授業を色々な教科でやってほしいと思います。

(2) 中学生の声

- ・ 懐かしい先生といろいろな話ができて楽しかった。また交流で来てほしい。
- ・ 親しみのある先生が来ることで、授業の雰囲気少し違ったものになってよかった。
- ・ 違う小学校の、知らない先生を知ることができた。緊張したけど楽しかった。
- ・ 自分が成長したところを見せてあげるいい機会なので頑張った。先生はそのままだったので安心した。

◎行事交流のようす

【小学校の運動会に中学生が参加】

6月5日、岡本小学校の運動会に中学生有志がお手伝いをしました。用具の準備・片付けや審判などの係をおこない、小学生と一緒に楽しい1日を過ごしました。

○運動会ボランティアに参加した中学1年生の感想

- ・ 中学校の部活がいそがしく、なかなか小学校へ遊びに行けなかったのですが、今回、運動会のボランティアとしてなつかしい友達と再開できたことは、とても楽しい思い出になりました。暑くて、小学生は大変そうでしたが、みんなを応援できてよかったです。これからも頑張ってください。
- ・ 騎馬戦やリレーは、やっぱり迫力があって、おもしろかったです。ダンスも全校生で踊っていたので、かわいかったり、おもしろかったりして楽しめました。久しぶりに会った友人や先生と話せてよかったです。また今度このような機会があったら参加したいと思います。そのときはよろしくお祈りします。

○旧6年生担任の感想

- ・ 事前に連絡のあった運動会ボランティアメンバー以外の生徒も進んで手伝ってくれたので、とても助かりました。全校ダンスの「よさこいソーラン」を一緒に踊れたら楽しいだろうなと思いました。
- ・ 今までも中学生が運動会を見に来ていましたが、今回のように、何か活躍の場があると中学生にとってよいと思います。中学生も楽しそうに参加していました。

【小・中合同あいさつ運動】

9月21日には、生活委員を中心に各小学校で中学生が朝のあいさつ運動をおこないました。今後も文化祭やクリーン活動などの行事で交流を図っていきます。

◎学校園研修会のようす



(1) 小中合同研修会・運営会議

4月28日、第1回の小中合同

研修会と運営会議では、モデル学校園としての今年度の研究の方針や課題、年間の活動計画などについて検討しました。活動の具体的な計画は、各部会の研修会で検討していきます。

(2) 9月8日、第2回の小中合同研修会では、各部会からの中間報告が行われ

ました。また、学力向上部会より、学校園の授業をつなぐ基本コンセプト、『思考の言語化 - 「なぜ」と問いかける授業を通して-』が発表され、児童・生徒が自分の考えや意見を、「正しい（論理的な）」日本語で発表することが

できるようになることをめざし、小中が連携して授業改革を行っていくことが確認されました。

☆お知らせ:「学校図書の相互貸借が始まりました。」

他の学校の図書室から本を借りるしくみが「相互貸借」です。学校園では、夏休み明けから3校間で図書の相互貸借を始めました。これは宇都宮市では初めての試みです。

9月には第1回として2つの小学校に合計60冊ほどの図書を貸し出しました。なかには、借りた本の続きが読みたいくてもう1冊追加して借りた児童もいます。

貸し出しの手続きは通常の貸し出しと一緒に、学校の図書室で読みたい本を検索して申し込めば、2～3日で本が学校に届きます。

みなさんも是非利用してみてください。

